



# 小学生、点字を学ぶ!



小学4年生の国語教科書に『手と心で読む』という作品が掲載されています。これは、20歳のころに失明した著者が、点字を自分のものにするまでの体験を書いたものです。

精華小学校では、実際に点字器を使って点字を打つ体験をし、視覚障がいや点字について理解を深めました。「点字は読むのが難しく、打つのもすごく大変だけど、目の見えない人にとってはとても大切だと分かった」「点字を打つ仕事をしてみたい」などの感想が聞かれました。



点字は、視覚障害者が指の触覚で読む字で、点(盛り上がり)によって文字・数字を表現しています。通常用いられる点字は横2×縦3の6つの点で表されています。

## 五十音を表す点字

あ い う え お	あ	い	う	え	お	母音を表す「あ行」の点字。 これが基本形となる。	
	か	き	く	け	こ		母音に、6の点を加えて 「か行」を表す。
	さ	し	す	せ	そ		
	た	ち	つ	て	と		母音に、3と5の点を加えて 「た行」を表す。
	な	に	ぬ	ね	の		

ボランティア団体『多治見点訳友の会』は、墨字を点字に点訳する活動をしています。書籍や公文書などの点訳のほかに、学校や福祉イベントなどで点字体験の指導をして視覚障害者福祉や点字への理解を深めています。